

## 『協同教育実践論文集』執筆・投稿規程

- (1) 『協同教育実践論文集』は、本学会員による協同教育、協同学習にかかわる実践を広く公開し、これを次世代に継承していくことを目的とする。
- (2) 本誌は ISSN（国際標準逐次刊行物番号）および ISBN を付した査読付きの学術雑誌とし、原則として毎年1号発行する。
- (3) 投稿の資格は、連名執筆者を含め、原則として本学会員に限る。ただし、実践論文集編集委員会が必要と認めた場合には、この限りではない。
- (4) 投稿原稿の採否決定、および修正は、実践論文集編集委員会による審査を経て行われる。
- (5) 本誌に掲載される実践論文は、協同教育の発展に資する未公刊の論文とする。
- (6) 投稿者が執筆のサポートを受けることを希望する場合は、学会員の中から世話人を立てることができる。その際は事前に学会理事または実践論文集編集委員会に相談すること。
- (7) 論文の作成にあたっては、日本協同教育学会研究倫理綱領を遵守し、人間の尊厳や人権の尊重に十分な配慮がなされなければならない。
- (8) 本誌は1頁40文字36行とし、刷り上がり14頁以内とする。なお、頁数については、実践論文集編集委員会が必要とみなした場合はこの限りではない。
- (9) 投稿原稿の提出は、すべて指定のテンプレートを用いた完全原稿とし、実践論文集編集委員会 (jissen@jasce.jp) 宛てに添付ファイルで送付すること。なお、投稿のテンプレートは、日本協同教育学会のウェブサイト (<http://jasce.jp/>) からダウンロードすることができる。
- (10) 投稿の際は、以下の3つのファイルをPDFファイルで作成し、送付すること。
  - ①本文（論文タイトル、アブストラクト（③を参照）、著者名、所属機関、引用文献を含むもの）
  - ②本文（①について、著者名、所属機関を含まないもの）
  - ③アブストラクト（和文で500字程度）、英文タイトル、筆者の連絡先。  
なお、掲載が決定した後、希望する者は英文アブストラクト（100～175語）を付してもよい。その際、必ずネイティブチェックを受けたものを提出すること。
- (11) 論文における本文中の引用のしかた、ならびに引用文献の書式は、下記に従うこと。
  - ①本文中では、安永（2004）、（安永, 2004, p.24）のように引用し、本文末尾に著者のアルファベット順に引用文献リストをつける。
  - ②引用文献リストの記載は、発表者の所属する学問領域の慣例にしたがって行うこと。ただし、とくに定めのない場合については、原則として以下の例にしたがって記載する。

○和文の単行本の場合：

杉江修治・関田一彦・安永悟・三宅なほみ（編） 2004 大学授業を活性化する方法  
玉川大学出版部

○和文の雑誌の場合：

安永悟・中山真子 2002 LTD 話し合い学習法の過程分析－不確定志向性の影響－  
久留米大学文学部紀要 19 号 49-71 頁

○欧文の単行本の場合：

Sharan, Y., & Sharan, S. 1992 Expanding cooperative learning through group  
investigation. Teachers College Press, New York

○欧文の雑誌の場合：

Cohen, E. G., 1994 Restructuring the classroom: conditions for productive small  
groups. Review of Educational Research, 64, pp. 1-35.

(12) 本文中での表記は、以下に従うこと。

- ①句点はマル（。）、読点はカンマ（,）を用いる。
- ②数を表示する場合は、アラビア数字を用いる。
- ③英数字に関しては、原則半角で示す。
- ④図や表については、通し番号を付し、タイトルをつける。
- ⑤注釈がある場合には、本文の該当箇所に上付き文字で通し番号を付す。

(13) 本誌に掲載された論文の著作権は、日本協同教育学会に帰属する。論文の掲載が決定した際に、本学会所定の著作権譲渡承諾書に署名し、本会事務局に返送することで著作権の譲渡を行う。なお、著作権譲渡承諾書の提出を掲載の条件とする。

附則

- 1 この規程は、2024年4月19日より施行する。

以上